2017年度 事業報告

2017年度内に実施した事業

第1：駐日事務所が実施するアジア太平洋地域（日本を含む）
における観光振興のための活動に対する支援事業

1.学術的調査・研究支援事業

2.観光交流促進支援事業

第2：地方公共団体等が行う観光交流促進に関する宣伝活動等
に対する支援事業

2017年度内に実施した事業

第1：駐日事務所が実施するアジア太平洋地域（日本を含む）
における観光振興のための活動に対する支援事業

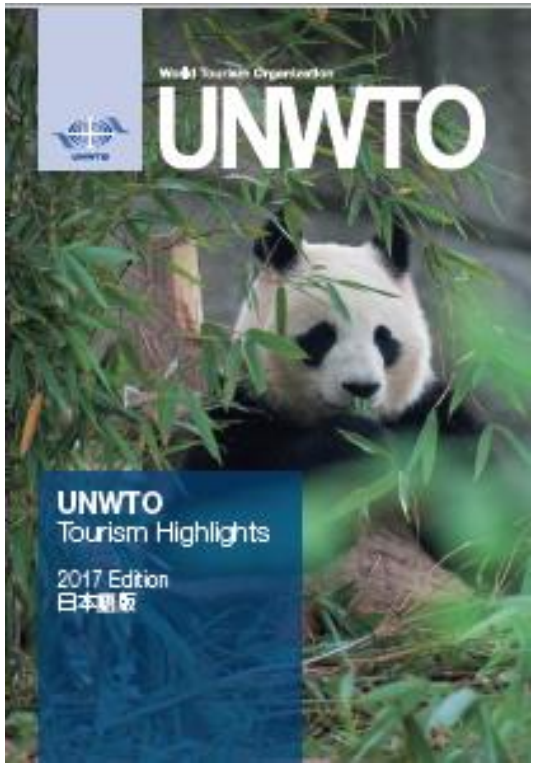
1.学術的調査・研究支援事業

2.観光交流促進支援事業

第2：地方公共団体等が行う観光交流促進に関する宣伝活動等
に対する支援事業

第1-1-(2) UNWTO出版物の翻訳刊行

①日本語での情報発信



UNWTOツーリズム・ハイライト
（UNWTO Tourism Highlights）
冊子2,000部発行 / データ配信

報道発表資料

UNWTO Regional Support Office for Asia and the Pacific
国連世界観光機関駐日事務所

2018 年 1 月 26 日

国連世界観光機関（UNWTO）

世界観光指標（World Tourism Barometer）

2018 年 1 月号について

本報道発表の原文（英語）は、下記リンクにてご覧いただけます。
世界観光指標原文（英語）は、UNWTO 本部での準備完了次第、
下記リンクにて抄録（無償）及び全文（有償）をご覧いただけます。
http://mkt.unwto.org/barometer

2017 年の国際観光実績：過去 7 年で最高に

PR No.: PR 18003
2018 年 1 月 15 日

最新の UNWTO 世界観光指標によると、2017 年の国際観光客到着数は、7%の目覚ましい成長により、世界全体で 13 億 2,200 万人に達した。この強い勢いは、2018 年においても継続し、4～5%の成長が見込まれている。

世界各地のデスティネーションにより報告されたデータを基にすると、2017 年の世界全体の国際観光客到着数(宿泊をともなう訪問客)は 7%増加した。これは 2010 年以降継続している成長率 4%以上の着実なトレンドを大きく上回り、過去 7 年間で最高の実績となった。

成熟した市場であるヨーロッパは、地中海のデスティネーションに牽引され 2016 年の国際到着数を 8%上回る著しい結果となった。アフリカは 2016 年のから回復し 8%増加し、アジア・太平洋は 6%の成長を記録し、中東は 5%、米州は 3%の成長となった。

2017 年の特徴として、多くのデスティネーションにおいて成長が持続したことで、昨年減少に苦しんだ地域においても着実な回復が見られた。この実績は、世界での

World Tourism Organization (UNWTO) Regional Support Office for Asia and the Pacific
Silkia Nara 2F, 6-1, Sanjo-honmachi, Nara 630-8122 Japan
TEL +81(742)30-3880 FAX +81(742)30-3883

UNWTO世界観光指標
（World Tourism Barometer）
データ配信

責任ある旅行者になるためのヒント
(Tips for a Responsible Traveller)
冊子3,500部発行 / データ配信

第1-1-(2) UNWTO出版物の翻訳刊行

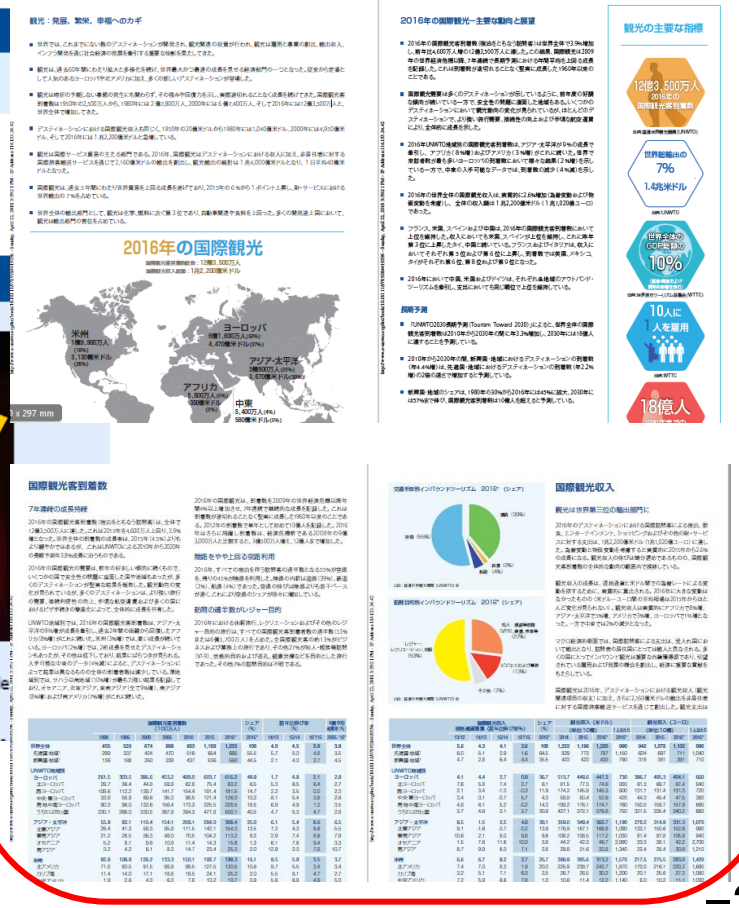
UNWTOツーリズム・ハイライト日本語版を本部ウェブサイト「e LIBRARY」よりダウンロード

本部サイト

PDFで印刷

ダウンロード（無料）

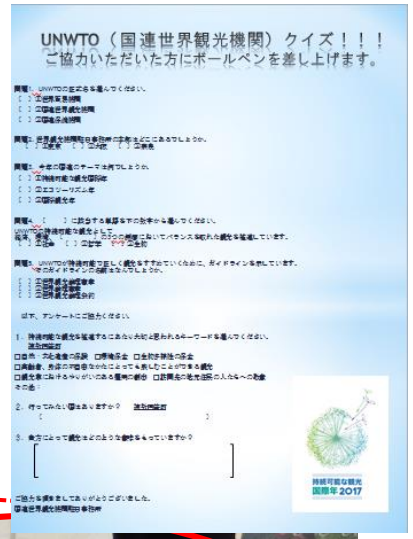
国際観光動向/観光客到着数
国際観光収入/長期動向等



第1-1-(2)-③ 世界観光倫理憲章の周知

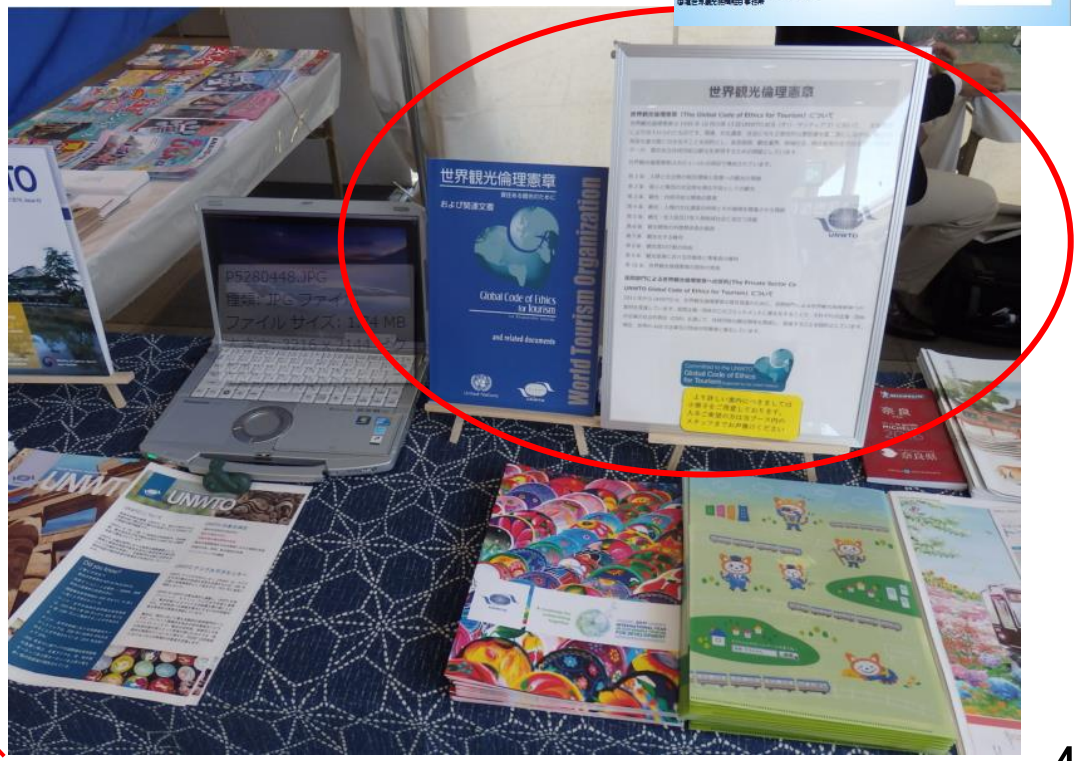
5月27日（土）、28日（日））
関空旅博2017 UNWTOブースにて

来場者へのアンケートで
認知度の調査も実施



憲章の紹介・冊子の配布

《ブース来客数述べ600名に対して》



以下の実施事業内容にも関連
第1-2-（4）-④　関空旅博2017への出展
第2-4　APTEC賛助会員の宣伝の機会の提供

APTEC賛助会員の事業内容や商品を
紹介するパンフレットをブースで来場者に配布

2017年度内に実施した事業

第1：駐日事務所が実施するアジア太平洋地域（日本を含む）
における観光振興のための活動に対する支援事業

1.学術的調査・研究支援事業

2.観光交流促進支援事業

第2：地方公共団体等が行う観光交流促進に関する宣伝活動等
に対する支援事業

第29回ＵＮＷＴＯ東アジア太平洋地域及び南アジア地域合同委員会

危機コミュニケーションに
関する地域フォーラムを
同時開催

地域フォーラムも含めて
約20ヵ国から約300名が参加

開催日：平成29年5月15日～17日
場　所：バングラデシュ
　　チッタゴン

国連世界観光機関駐日事務所
福田副代表より活動報告

第22回ＵＮＷＴＯ総会

130ヵ国以上のUNWTO加盟国
賛助会員等から1,300名以上が
参加

持続可能な観光開発のすべての
利害関係者の責任を網羅する
「観光倫理憲章」の条約化を承認

ズラブ・ポロリカシュヴィリ氏を
次期事務局長に選出

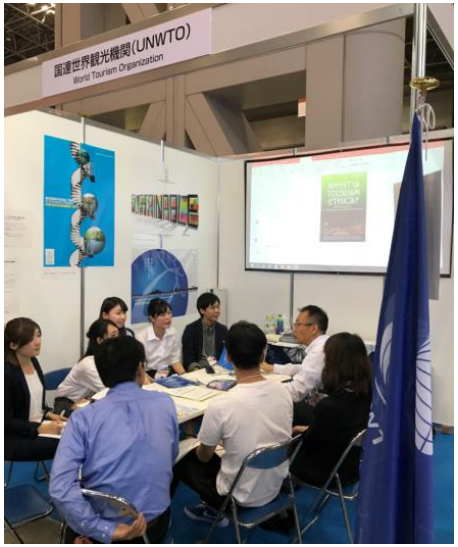
開催日：平成29年9月11日～15日
場　所：中国　成都

ツーリズムＥＸＰＯジャパン2017

UNWTOブースを設けて、観光を学ぶ
学生に向けてのセミナーを実施

開催日：平成29年9月22日～24日
場　所：東京（東京ビックサイト展示棟）

講師派遣協力：JNTO　/　JATA / 全日本空輸 / 京都大学
受講学生：京都大学 / 和歌山大学 /　東洋大学
運営協力 ：和歌山大学　観光学部
全体コーディネート：UNWTO専任アドバイザー 亀山氏



UNWTOス・ジン部長がブース訪問

駐日事務所本保代表がブース訪問

ツーリズムＥＸＰＯジャパン2017

第3回ジャパン・ツーリズム・アワード　UNWTO部門賞表彰
開催日：平成29年9月21日

UNWTO部門賞
The Japan Tourism Award for Responsible Tourism in collaboration with UNWTO

The Japan Tourism Award for Responsible Tourism in collaboration with UNWTO

UNWTO部門賞

▲「大人の社会科ツアー」宇部興産伊佐セメント工場石灰石鉱山

▲産業観光ワークショップ in 長崎 シンポジウム・視察ツアー

全国産業観光推進協議会

「産業」が「観光」になる
～全国産業観光推進協議会の取組み～

●選考ポイント
我が国における消費者の観光に対する価値観の多様化により、新たに地域の魅力をじっくりと味わう本物志向の観光が求められるようになった。その中で、全国産業観光推進協議会は工業のみならず農林水産業、サービス業など地域の産業を観光素材として消費者に提供することで交流人口を拡大することを目的に普及活動を中心とした事業を展開しており、観光活動としての産業観光を定着、かつ持続的な取組みとしていることが評価された。

「UNWTO部門賞」とは
世界観光機関(World Tourism Organization: UNWTO)は、2003年の第58回国連総会において承認された国連の専門機関であり、日本を含む約160か国が加盟する観光分野における世界最大の国際機関として、観光の振興・発展を活動目的とし、様々な事業を実施しています。
世界観光倫理憲章は世界の環境、文化遺産、社会に与える潜在的な悪影響を最小限にしながら、観光産業の発展を最大限に引き出すことを目的としてUNWTO総会(1999年)で採択された規範であり、この普及および実施活動はUNWTOが実施する最も重要な事業の一つとされています。
観光庁の主導により、2014年9月に日本の主要な観光産業の企業・団体が世界観光倫理憲章に署名しました。これを受け、ツーリズムEXPOジャパン組織委員会は、世界で初めて当観光倫理憲章の理解と推進、ならびに観光産業における新しい価値創造を目的とする顕彰制度を設け、責任ある観光産業のふ続的な発展に関することとしました。
参考:UNWTO世界観光倫理憲章(英語)
http://ethics.unwto.org/en/content/global-code-ethics-tourism

UNWTO
In collaboration with

2017 INTERNATIONAL YEAR OF SUSTAINABLE TOURISM FOR DEVELOPMENT

世界観光倫理憲章の理念に則った優秀な取組を行っている団体を表彰
※第1-2-（3）　観光倫理憲章普及・促進事業

UNWTOアジア太平洋部
ス・ジン部長より授与

各賞審査委員長：
国連世界観光機関駐日事務所
本保代表

特別講演会「持続可能な観光国際年～Sustainable Tourismを目指して」

開催日：平成29年9月22日
場　所：東京（東洋大学）

学生・教員339名
一般30名（自治体、民間企業等）
合計369名の参加

左側より
UNWTO　ス・ジン部長
グレアム・ミラー氏
マイケル・フレンゼル氏
駐日事務所　本保代表

第32回国民文化祭・なら2017/第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会

主催者挨拶①
奈良県　一松副知事

講演
ANA総合研究所 小川会長

講演
スペイン政府観光局 洞澤氏

自治体、民間企業、一般の方
合計84名の参加

開催日
　:平成29年10月5日
場　所
　:奈良（ホテル日航奈良）

主催者挨拶②
駐日事務所　本保代表

雪と文化の世界観光会議 in 山形

2/1　歓迎レセプション

2/2　本会議

29ヵ国　約300名の参加

2/3　商談会

開催日：平成30年2月1日～3日
場　所：山形県・山形市

雪と文化の世界観光会議 in 山形

この会議を報じる新聞記事

山形新聞

冬・雪は東北の強み

誘客策を幅広く議論

国連世界観光会議 in 山形

吉村知事「6県一体で進める」

観光事務局長「物語でブランド化」

UNWTO International Conference on Tourism and Sn

UNWTO 雪と文化の世界観光会議

名品に囲まれ弾む交流

山形美術館でレセプション

読売新聞

世界観光会議始まる

山形「雪と文化」テーマに

朝日新聞

「山形の人、雪を楽しんで」

国連世界観光会議きょう開催

「個人的な文化体験」訴え

朝日新聞

「地方にこそ可能性」

国連世界観光会議に300人

持続可能な経済成長めざす

国連観光会議が開幕

内外関係者ら議論

毎日新聞

ガストロノミーツーリズム in Japan

国、自治体、民間企業、
学術機関、メディア等
約300名参加

入場無料

ガストロノミーツーリズム　in Japan シンポジウムの開催のご案内

～ガストロノミーツーリズムで食文化を守り・育て、そして地域を元気に～

国連世界観光機関（UNWTO）の提唱するガストロノミーツーリズムの推進は、我が国における訪日外国人の地方への誘客、観光による地方創生への大きな推進力になりえます。このたびUNWTOと㈱ぐるなび、日本観光振興協会にて我が国のガストロノミーツーリズムの共同調査を行ないました。これを機にガストロノミーツーリズムへの理解を深めていただくと同時に地域活性化へのヒントをご提供します。

■ 開催概要

開催日時：2018年2月5日（月）13時30分～17時20分　（受付開始13:00）
開催場所：東京・青山　国連大学「ウ・タントホール」
アクセス：地下鉄表参道駅より徒歩5分、各線渋谷駅より徒歩8分
主　　催：（公社）日本観光振興協会
共　　催：国連世界観光機関駐日事務所　ぐるなび（株）ぐるなび
協　　力：ANA 全日本空輸（株）
参加対象：自治体、企業、大学、観光、飲食、農水関係者等
募集人員：360名（申込み先着順）※日英同時通訳対応

■ プログラム

1. 主催者挨拶
山口　範雄　（公社）日本観光振興協会会長
本保　芳明　国連世界観光機関駐日事務所代表

2. 来賓挨拶
タレブ・リファイ　氏
国連世界観光機関（UNWTO）事務局長
田村　明比古　氏
観光庁長官

3. 基調講演
海外におけるガストロノミーツーリズムの潮流
ヨランダ・ペルドモ　氏
国連世界観光機関（UNWTO）
アフィリエイトメンバー部部長

4. 調査報告
我が国のガストロノミーツーリズムに関する調査
宮崎　俊徹　氏
三菱総合研究所地域創生事業本部
地域づくり戦略グループ
観光立国実現支援チームリーダー

5. 鼎談・「調査を終えて」
久保　征一郎
（株）ぐるなび代表取締役社長
久保　成人
（公社）日本観光振興協会理事長
（司会）見世　陽一　氏
（一社）ＯＮＳＥＮ・ガストロノミーツーリズム推進機構理事長

6. パネルディスカッション
「ガストロノミーツーリズムで食文化を守り・育て、そして地域を元気に」
【モデレーター】
小川　正人　氏
（株）ANA総合研究所取締役会長
【パネリスト】
荒井　正吾　氏
奈良県知事
菅原　昭彦　氏
気仙沼商工会議所会頭
上野田　義平　氏
天領酒造（株）代表取締役
ヨランダ・ペルドモ　氏
国連世界観光機関（UNWTO）
アフィリエイトメンバー部部長

＜お問い合わせ先＞
（公社）日本観光振興協会　旅行振興部門　（担当：杉野、中村）
TEL：03-6435-8334　FAX：03-6435-6921　※お申込方法の詳細は、裏面をご覧下さい

パネルディスカッション

モデレーター：
ANA総合研究所
小川会長

パネリスト：
奈良県 荒井知事
気仙沼商工会議所 菅原会頭
天領酒造 上野田社長
UNWTO ペルドモ部長

開催日：平成30年2月5日
場　所：東京（国連大学）

第1-2-(4)-③ UNWTOの活動に関する情報発信

4/13 世界銀行・観光実務者研修会合（立命館大学内）

11/3 島原フォーラム（長崎県・島原市）

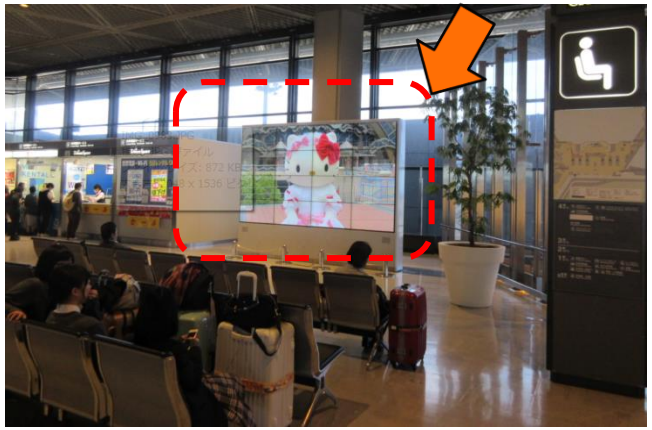
2/28 JNTOインバウンドシンポジウム（大阪市）

3/11～13 京都観光データウォーク（京都大学内）

第1-2-(4)-⑤ 観光国際年のプロモーション

ビデオ放映 《Travel , Enjoy ,Respect / ハローキティ(観光国際年特別大使に任命)》

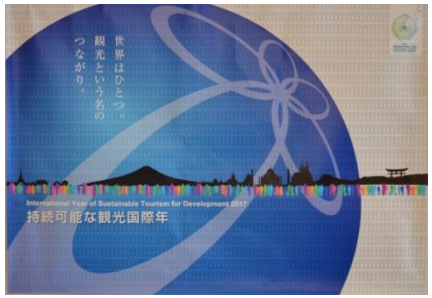
成田空港ターミナル内

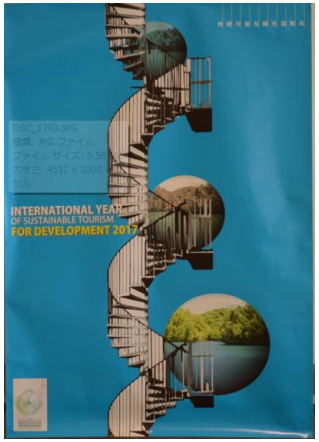


関西空港ターミナル内

全日空 機内(国内線・国際線)

二科展(観光国際年をテーマとしたポスター展入賞作品)





地球の歩き方 (ガイドブック / 広告スペース)

2017年度内に実施した事業

第1：駐日事務所が実施するアジア太平洋地域（日本を含む）
における観光振興のための活動に対する支援事業

1.学術的調査・研究支援事業

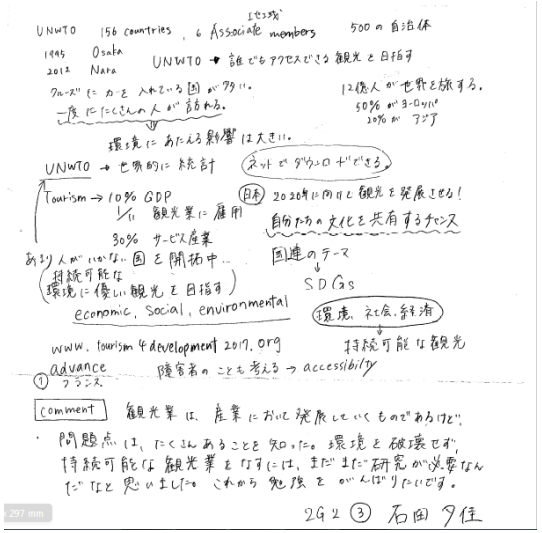
2.観光交流促進支援事業

第2：地方公共団体等が行う観光交流促進に関する宣伝活動等
に対する支援事業

第2-3 国際人材育成支援事業

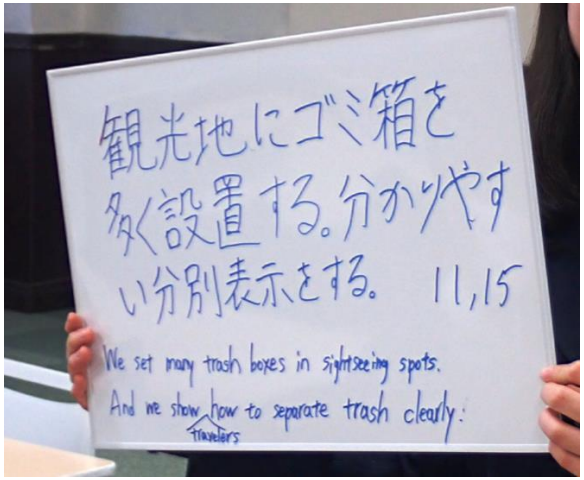
《高等学校》

5/24 近畿大学付属高校



6/6 奈良市立一条高校

7/29,1/18,2/10 奈良県立畝傍高校



《大学》 7/13 奈良女子大学

《国際団体》

7/5 JICA課題別研修（東京）

7/24 JICA課題別研修（神戸）